



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ
 コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行

TEL 06-6380-2141

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	27,990	17.9	1,722	46.6	1,721	41.9	1,067	95.3
30年3月期第3四半期	23,741	15.7	1,174	88.9	1,213	69.7	546	26.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,011百万円 (38.4%) 30年3月期第3四半期 730百万円 (97.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	141.50	
30年3月期第3四半期	72.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	35,229	15,344	43.6	2,033.98
30年3月期	33,101	14,483	43.8	1,919.91

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,344百万円 30年3月期 14,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		10.00	20.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	11.5	1,500	20.1	1,400	2.9	850	63.0	112.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,718,722 株	30年3月期	7,718,722 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	174,887 株	30年3月期	174,860 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,543,843 株	30年3月期3Q	7,543,862 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 311「当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、人件費の高騰等が収益面に影響を与え、また人手不足も顕著化の度合いを増してまいりました。

このような状況下、前第4四半期連結会計期間より準備を進めていた米国不動産投資会社が昨年取得した全国規模の集合住宅への原状回復工事・修繕工事等の取り組みが本格化したこと、前連結会計年度に新築・増築オープンした2ホテルおよび第1四半期連結会計期間に新築オープンした1ホテルが順調であること、食品工場の生産ラインの衛生管理等を行うサンテーション業務の拡充が順調であること等により、当第3四半期連結累計期間の業績も引き続き順調に推移しております。また、販売用不動産売却の売上、利益面での寄与も大きく、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は279億90百万円(前年同期比17.9%増)、経常利益は17億21百万円(前年同期比41.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億67百万円(前年同期比95.3%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、前第4四半期連結会計期間より準備を進めていた米国不動産投資会社が昨年取得した全国規模の集合住宅への原状回復工事・修繕工事等の取り組みが本格化したこと、食品工場の生産ラインの衛生管理等を行うサンテーション業務の拡充が順調であること等により、業績が向上しております。また、お客様のニーズを踏まえた省エネ・省コストに繋がる各種提案、作業品質を維持・向上させるための現場チェック・作業指導活動等を継続して実施しており、新規現場の受注も増えております。自社運営ホテルの取り組みへの評価に伴う、他社運営ホテルのメンテナンス案件の新規受注も増えてきております。人件費の高騰等収益面への影響は厳しいものがありますが、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は195億91百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益は22億10百万円(前年同期比34.0%増)となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第3四半期連結累計期間は販売用不動産売却により、前年同期と比較して売上高は増加いたしました。前期発生した案件の利益率にはおおよばなかったため、セグメント利益は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は56億53百万円(前年同期比66.6%増)、セグメント利益は7億42百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っております。当社グループでは、関西圏で3施設、関東圏で1施設を運営しており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。新たな入居者もありますがご逝去等による退去も多く、入居稼働率アップに苦戦している施設もあり、前年同期と比較して売上高は増加いたしました。セグメント損失は拡大いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8億72百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント損失は32百万円(前年同期は13百万円のセグメント損失)となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、ツタヤ等の店舗展開を行っております。前連結会計年度において、各店舗の収益性・将来性を踏まえた6店舗の譲渡・閉店等を実施し収益改善を図り、前年同期と比較して売上高は減少いたしました。セグメント利益は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10億64百万円(前年同期比25.5%減)、セグメント利益は29百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で合計3棟のホテルを運営しております。当連結会計年度より、ホテル事業拡大に伴い、その他事業からホテル事業をセグメント分離しました。前連結会計年度に新築・増築オープンした2ホテルおよび第1四半期連結会計期間に新築オープンした1ホテルは順調に推移しており、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億77百万円(前年同期比160.7%増)、セグメント利益は1億51百万円(前年同期は9百万円のセグメント損失)となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、太陽光発電事業等については順調に推移し、前年同期と比較して売上高は増加いたしましたが、来期スタートする新規プロジェクトへの準備費用等が発生し、セグメント利益は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億30百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比77.2%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益が通期の連結業績予想を上回っておりますが、現時点では通期の連結業績予想の修正を要しない水準で推移することが予想されることから、平成30年8月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,338,239	6,222,364
受取手形及び売掛金	3,238,309	3,423,781
商品及び製品	40,866	48,448
販売用不動産	6,084,889	5,307,764
未成工事支出金	145,241	20,754
原材料及び貯蔵品	34,765	37,435
その他	3,882,235	3,508,589
貸倒引当金	△1,021,730	△1,055,585
流動資産合計	17,742,816	17,513,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,123,849	6,163,869
土地	6,782,124	8,609,502
その他(純額)	1,074,912	646,668
有形固定資産合計	12,980,886	15,420,039
無形固定資産	475,888	404,079
投資その他の資産		
その他	2,004,834	1,974,152
貸倒引当金	△103,052	△82,462
投資その他の資産合計	1,901,782	1,891,690
固定資産合計	15,358,556	17,715,809
資産合計	33,101,373	35,229,363

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,899,901	1,985,583
短期借入金	3,600,000	4,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,639,208	2,430,905
未払法人税等	196,529	476,056
賞与引当金	263,070	110,254
その他	2,296,559	2,691,448
流動負債合計	10,895,269	11,694,249
固定負債		
長期借入金	6,232,543	6,726,437
役員退職慰労引当金	210,293	212,278
退職給付に係る負債	318,179	327,279
資産除去債務	138,341	140,699
その他	823,186	784,412
固定負債合計	7,722,544	8,191,107
負債合計	18,617,813	19,885,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,852,220	1,852,220
利益剰余金	10,714,497	11,631,042
自己株式	△78,464	△78,487
株主資本合計	14,297,054	15,213,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,568	148,110
為替換算調整勘定	△26,800	△32,565
退職給付に係る調整累計額	36,736	14,886
その他の包括利益累計額合計	186,505	130,431
純資産合計	14,483,559	15,344,007
負債純資産合計	33,101,373	35,229,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	23,741,363	27,990,182
売上原価	18,833,470	22,406,501
売上総利益	4,907,892	5,583,680
販売費及び一般管理費	3,733,071	3,861,588
営業利益	1,174,820	1,722,092
営業外収益		
受取利息	31,683	34,530
受取配当金	6,701	7,557
受取賃貸料	20,936	24,506
持分法による投資利益	16,076	12,984
貸倒引当金戻入額	528	—
その他	39,666	37,611
営業外収益合計	115,593	117,191
営業外費用		
支払利息	50,014	58,283
支払手数料	19,432	40,959
貸倒引当金繰入額	—	15,854
その他	7,901	2,467
営業外費用合計	77,348	117,563
経常利益	1,213,065	1,721,719
特別利益		
固定資産売却益	3,603	—
投資有価証券売却益	53,440	—
会員権売却益	—	500
資産除去債務戻入益	12,141	—
その他	47	—
特別利益合計	69,232	500
特別損失		
固定資産除却損	1,077	3,768
投資有価証券評価損	3,558	—
減損損失	38,371	57,509
その他	328	141
特別損失合計	43,336	61,418
税金等調整前四半期純利益	1,238,962	1,660,801
法人税、住民税及び事業税	442,591	542,105
法人税等調整額	53,354	51,231
法人税等合計	495,946	593,337
四半期純利益	743,015	1,067,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	196,519	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	546,495	1,067,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	743,015	1,067,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,506	△28,458
為替換算調整勘定	2,433	△5,764
退職給付に係る調整額	△13,382	△21,850
その他の包括利益合計	△12,454	△56,073
四半期包括利益	730,561	1,011,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534,041	1,011,390
非支配株主に係る四半期包括利益	196,519	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。